

# あまみ

## 市議会だより

No.74  
2024.9



▲ 第61回 奄美まつり

## 奄美・沖縄 世界自然遺産



### 第2回定例会

令和6年6月18日～7月5日

発行／奄美市議会  
編集／奄美市議会だより編集委員会  
〒894-8555  
鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号  
TEL：(0997) 52-1111  
FAX：(0997) 52-2815  
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会一般質問	P2～P5
第2回定例会常任委員会	P6
第2回定例会の主な議案	P7～P8
所管事務調査報告	P9
令和5年度政務活動費報告	P10～P11
あとがき	P12

# 市政を問う

一般質問とは、議員が、市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市の考えを問うものです。6月19日、20日、21日の3日間で11名の議員が市当局に問い質しました。

主な項目について、議員本人が質問と答弁を要約したものをご紹介します。なお、紙面の都合により掲載できなかった内容は、録画配信では是非ご視聴ください。

## 1日目

- 1 永田 清裕
- 2 叶 幸治
- 3 盛 剛
- 4 竹山 耕平

## 2日目

- 1 大庭 梨香
- 2 瀧 真一郎
- 3 崎田 信正
- 4 幸多 拓磨

## 3日目

- 1 泉 義昭
- 2 帯屋 誠二
- 3 前田 要

録画配信は  
こちら→  
(YouTube)



奄美市 議会録画配信

### 鹿児島直轄総合防災訓練の 評価について



永田 清裕  
自民党新国会  
産業建設委員

**問** 訓練の成果・検証は市民からは「防災行政無線が聞きづらい」「避難経路、避難場所の修繕や整備に関する課題」が寄せられた。市職員からは避難経路の混雑回避のため「出来るだけ高い所に全員で」というスタイルから「必要な人が迅速に」というスタイルに変えていくべきとの意見あり。来年度の防災訓練は「防災の日」である9月1日前後の日曜日を行う計画である。

**問** 奄美駐屯地との連携  
**答** 今回も合同災害対応訓練をはじめ、物資輸送訓練・野外風呂設置など多数の訓練に参加いただいた。本市も陸上自衛隊奄美警備隊と連携した訓練を行い、奄美市本庁における現地合同調整所の設置運営や映像伝達訓練、また奄美川商ホール

### 評価について

では炊き出し訓練を協力して実施した。令和4年1月に津波警報が発令された際にも奄美駐屯地を緊急避難場所として開放していただいた。これらの経験を踏まえ、近々「緊急避難場所に関する協定」を締結する予定である。

**問** トンネル内ラジオ整備  
**答** 本茶トンネル内ではラジオ放送受信が出来ない状況であり、改修には多くの課題がある。早期に改善されるように県に要望していく。

**問** 物価高騰対策について  
**答** 物価高騰に伴う資材仕入れ価格の上昇や売り上げ減少の懸念などの課題があり、市内事業所を取り巻く環境についても厳しい現状であると認識している。奄美市独自の支援は「奄美市中小企業振興会議」などで協議し、必要性を考え施策を講じる。

【その他の質問事項】  
◎環境問題について

### 奄美市給食センター汚泥 について



叶 幸治  
公明党  
産業建設委員

**問** 汚泥の現状処理について  
**答** 例年3回程度汚泥抜き取り作業を実施。産業廃棄物になるため、県本土に運搬処分。費用は1回約100万円。令和5年度は計2回実施、市の単独費用にて支出。

**問** 再生可能エネルギーとしての活用について  
**答** 一般的に考えると資源活用の可能性はある。以前、下水道施設への受け入れを市担当者・県担当者で協議した結果、産業廃棄物処理施設の設置許可が必要とのこと。認可取得を行う場合、生活環境影響調査等、様々な手続きを要する。許可までの期間は2〜3年、概算で2千万程度経費見込み。認可取得を行う前提での試算は行っていない。

**問** 第2ひまわりクラブの施設整備について

### について

**答** 施設の耐用年数が15年〜20年となっており、新たな事業実施場所を検討する時期に来ていると考えている。

建替えや増設については、小学校の余裕教室や小学校敷地内専用施設の活用を図るほか、近隣の民家・アパートなども活用して実施することを国が示している。児童が安心して過ごすことのできる場を児童クラブと一緒に検討する。

**問** 避難所設備及び児童安全対策としてのナイター照明設置について  
**答** 学校グラウンドの照明設備については児童生徒の夜間使用を主目的にしておらず、地域の拠点施設機能を考慮している。小学校における教育活動上の夜間使用は無い状況。グラウンド施設の一般開放や災害時における避難所施設として、学校施設の利活用について総合的に判断の上、必要に応じて検討して参りたい。

# 森林資源の有効活用について



盛 剛  
無所属  
(産業建設委員)

**問** 森林に対する長期計画の概要と展望

**答** 森林面積は2万4140haで総面積の78%を占めており森林資源の有効活用は重要な課題であると認識している。国・県の補助事業や、森林環境譲与税を活用して計画的な森林整備に努める。

**問** かつお節燻製用薪の直近の出荷量

**答** 令和3年度は22.6m<sup>3</sup>、令和4年度は23.6m<sup>3</sup>、令和5年度は22.0m<sup>3</sup>。奄美は大部分がイタジイ林であり継続的な集荷が見込める。

**問** 島内の木炭生産量と生産者の状況

**答** 令和2年度の249kgを最後に生産実績はない。生産者もいないのではないかと懸念。

**問** 人工林の面積数値、スギ林の利用策

**答** 人工林994haで、うちスギ林は225haである。建築資材として利用可能か検討したい。学林地についても同様。

**問** 林道の管理状況について

**答** 林道滝行線、山間支線については、現在復旧工事を行っている。市道又タル俣線、石原・栄間線は観光客や、鉄塔管理、ナイトツアー観光、希少種の調査研究にも利用されている。

**問** 空き家の利活用について

**答** 移住者用空き家改修に改正奄振法が活用可能。既存住宅を移住者向けに活用する。

**問** 観光振興と航空運賃軽減について

**答** 離島割引制度が沖縄路線にも拡充され、鹿児島路線は介護帰省者にも適用。交流人口のさらなる拡大に向け予算の確保や拡充に努める。また奄美群島認定エコツアアーガイドは90名となっている。

# マングローブパークの観光拠点構想に向けて



竹山 耕平  
自民党新国会  
(文教厚生委員長)

**問** 施設の老朽化対策と将来を見据えた奄美の観光拠点施設構想の実現を目指す

**答** 園内の特に凸凹が多い箇所や提案のあったマングローブパークと奄美大島世界遺産センター間の通路舗装、第2駐車場から奄美大島世界遺産センター間の通路舗装については6月補正予算を計上し修復を行う。既存のトイレについても数が足りていないため、早急に整備を行うよう調整する。

**問** リニューアル計画について

**答** 離島割引制度が沖縄路線にも拡充され、鹿児島路線は介護帰省者にも適用。交流人口のさらなる拡大に向け予算の確保や拡充に努める。また奄美群島認定エコツアアーガイドは90名となっている。

# マングローブパークの観光拠点構想に向けて

い状況にあるが、一種の保存」を遂行するため、飼育環境に必要な施設のメンテナンスと早めの採捕準備を進めていく。またリュウキュウアユは県指定希少野生動植物に指定されていることから、食用を目的とすることには同意できないと回答を得ている。

**問** 小・中学校で子ども達に使用するタブレット端末の持ち帰り学習の現状について

**答** 児童生徒に一人一台タブレット端末を整備している。持ち帰り状況は、小中学校28校のうち、持ち帰りを実施している学校が17校、実施していない学校が11校。家庭における課題学習や自主学習の充実、学級・学年閉鎖時のリモート学習等の推進からタブレット端末の持ち帰りについて全学校に改めて周知を図る。また、各家庭のWiFi設置への支援体制は他市町村の状況も把握した上で研究していく。

# 福祉行政について



大庭 梨香  
公明党  
(文教厚生委員)

**問** 市民と市長のくれあい対話における意見要望は市政に反映しているのか

**答** 緊急度、優先度が高い意見、要望については速やかに所管課ごとに対応、自治会長等に伝えていく。ホームページを閲覧できない方には、市役所にお越しいただきたい。

**問** 3月一般質問後の進捗状況、带状疱疹ワクチン接種の助成可否について

**答** 龍郷町と大和村が今年度から助成事業を開始。医師会との連携や国の動向にも注視し今後とも検討課題とし、他の市町村の事業導入による効果などを参考に慎重に見極める必要がある。

**問** 公衆浴場(銭湯)の本市における現状と課題について

**答** 時代の変遷により各家庭にお風呂が配置され、利用者の減少や燃料費高騰等による減収、施設の老朽化、後継者不足など様々な事情があつて減少していると考えている。

**問** 複合施設の機能、具体的建設スケジュールおよび入浴施設はあるのか

**答** 再検討中であり、スケジュールは示す状況にないが、子育て中の親子に遊びや交流の場、情報の提供、相談や助言、一時預かり事業等を考えている。健康づくりは保健センター機能とし当初の基本理念の実現に努める。老人福祉会館からの移転はしない。入浴施設はない。

**問** 第3期奄美市子ども子育て支援事業計画を協議する「子ども・子育て会議」において、どのような意見が出されたか

**答** 雨天等の遊び場の確保、親子で利用でき移住親子の仲間づくりの場が必要等の意見や指摘を受けている。先進施設の視察や具体的な検討を始め、子育て支援センターから

# 「ゼロカーボンシティ宣言」について



瀧 真一郎  
無所属  
(総務企画委員)

**問** 二酸化炭素排出量「実質ゼロ」とは

**答** 温室効果ガスの「排出量」と森林等による「吸収量」をあわせてゼロにするということ。

**問** 「排出量」「吸収量」の算出方法は

**答** 環境省が示した「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」に準拠し算出。

**問** 「奄美市地球温暖化防止活動実行計画」で策定する「排出量」削減への取り組みは

**答** エネルギー利用量の削減、再生可能エネルギーの導入が必要。市民の方々が取り組む具体的な内容としては、エコ商品への切り替え・エコドライブ・ゴミの削減等がCO2削減へ繋がる。

**問** 「奄美市地球温暖化

# 市長の政治姿勢

## 女性管理職の登用について



嶋田 信正  
日本共産党  
(文教厚生委員)

**問** 奄美市の女性管理職の登用について

**答** 今年度の女性管理職は、部長級はいないが、課長級が5人で7.2%。目標は「奄美市特定事業主行動計画（後期）」を策定して令和7年度に15%を設定している。

**問** 国民健康保険料統一の動きについて

**答** 令和6年3月に「第3期鹿児島県国民健康保険運営方針」が策定され、保険料水準の統一に向け、令和8年度までは現行どおりとし、令和9年度より二次医療圏ごとに医療費指数を統一し、事業費納付金を算定する。現段階では保険料統一のスケジュールは示されていない。

**問** 10月からの「子ども子育て支援金」と国保の関係はどのようになっているか

# いじめ問題・自動運転バスへの取り組み現状について



幸多 拓磨  
チャレンジ奄美  
(文教厚生副委員長)

**問** 直近3年間のいじめの報告・発件数について

**答** 「学校いじめ防止基本方針」に則り、各学校には1件でも多く認知するように指導している。いじめの認知件数が多いということは、教職員が児童生徒の様子をしっかり確認し、「いじめの芽」や「いじめの兆候」をとらえているということであり、早期解決につながる事が期待されることである。

● いじめ件数(件)

	小	中	R4	R5	R6
	433	191			
	334	115			
	36	5			

※令和6年度は4月末現在  
※これらの案件は全て解消済

**問** 教育長としてのいじめゼロへの思いと覚悟は

**答** 「いじめはどの児童生徒にも、どの学校にも起こりうるもの」「いじめは

人権侵害であり、人として許される行為ではない」という認識をもち、1件も見逃すことなく解消していくことが大切だという考えである。教育長として「いじめゼロ」を目指し、「いじめ」を絶対に許さない学校づくりに邁進していく覚悟である。

**問** 自動運転バスへの当市の取り組みの現状について

**答** 自動運転バスの導入にあたって、車両の技術開発による安全性の確保や、運行する地域の理解と協力、走行環境の確保など多くの課題もあるものの、地域公共交通の新たな施策として示されているところである。本市における持続可能な交通体系のあり方を広く考えていくなかの一つとして「自動運転バス」の導入可能性も含め、本年度予定される地域公共交通計画の策定にむけた議論の中でも検討して参りたい。

## 奄美市未来づくり・観光移動手段施策・防災訓練について



泉 義昭  
奄美笠誠会  
(産業建設副委員長)

**問** 未来の笠利地域創生戦略について

**答** 笠利版地域創生戦略策定にむけて「笠利町の魅力を掘り起こし、まちを元気にする」ことを基に今後のスケジュールとしては9月から12月にかけて骨子案をまとめる。民間委員20名の戦略策定審議会委員と笠利町地域協議会と広く公に意見・情報・改善案などを求めながら10年先の笠利町の「ありたい姿」にできる戦略計画に取り組み。

**問** 奄美の観光巡り移動手段施策について

**答** 本年度から奄美大島5市町村が一体となって「地域にとつて望ましい地域旅客サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープラン「奄美大島地域公共交通計画」を策定する。

**問** 笠利地区海岸線一周巡

り観光道路の設置について

**答** 「奄美大島チャレンジスポーツ運営協議会」が調査した「奄美一周サイクリング実踏調査レポート」や笠利地区29集落の観光名所が掲載されている「奄美市笠利地区集落歩きガイドマップ」等を参考に新たな観光情報を作成し、地域活性化について検討する。

**問** 奄美市防災訓練の関係機関との連携について

**答** 今後の訓練では名瀬・住用・笠利各地区の地震・津波を想定し、地区の課題抽出・検討等を行い、消防・自衛隊・警察等の関係機関との連携体制を整える。

【その他の質問事項】

◎地震災害時の小・中・高生の防災訓練・避難場所について

◎笠利町の登坂トンネル長期計画について（笠利・佐仁・赤木名・笠利）

◎地震津波警報時の津波観測点について

## 市民生活と観光政策について



帯屋 誠二  
無所属  
(総務企画委員)

**問** お達者ご長寿応援事業について

**答** 令和5年度は市全体で6834名に補助券を配布。利用率は70%。利用内訳はタクシー利用が65・7%、バス利用18%、施設利用16%、有償ボランティアの移送サービス利用が0・3%になっている。今後も継続していくが、物品購入に利用対象を広げる考えはない。

**問** 森林環境税と森林環境譲与税の利用計画について

**答** 奄美産木材の利用促進として、リュウキュウマツを活用した表札200枚を抽選による無料配布、学校看板を25か所に設置。森林整備に関する施策として、金作原へ向かう観光ルートの知名瀬林道周辺の落石・土砂崩れ等防止を目的とした間伐を、令和3年度と5年

度に実施。

森林環境保全に特化した事業の計画は、現在のところ予定はなし。

**問** 県が掲げる観光戦略に対して奄美市が行っている施策について

**答** 持続可能な奄美観光の構築を目的として、旅行者を対象とした環境保全事業や、環境省等の関係機関と連携したオーバーツーリズム対策として自主ルールの運用と検討を行っている。また、離島割引制度の沖縄路線や介護帰省者への拡充や、奄美群島誘客・周遊促進事業を実施している。

**問** 新たな観光地区を設ける予定はあるのか

**答** おがみ山公園は、今年度にも久里町側からの園路の再整備を実施する予定ではあるが、新たな開発や改修は厳しい。タンギョの滝に関しては、砕石場の閉山手続きが進んでいないので、整備をするのは難しい。

## 笠利地区の危険な通学路について



前田 要  
奄美笠誠会  
(文教厚生委員)

**問** 国道58号喜瀬地区、県道601号の城間・宇宿地区間、同じく用地区の3か所の要望書の進捗状況について

**答** 国道58号喜瀬地区については、平成11年、16年、25年、27年、令和3年に、地元の喜瀬集落より改良に関する要望書が提出されている。城間・宇宿間については平成10年、15年、16年、令和元年に要望書と地権者約9割の同意書が提出されており、鹿児島県に奄美市から進達済。地元集落や県と協力連携して早期事業着手に取組中で、用地区は地元からの要望は無し。

**問** 農地転用の基準について

**答** 通常の農地転用許可申請は、農業委員会が県からの特許申請に基づいて承認している。農振農用地にあたる農地は原則として転用が認められない。農地転用許可は、立地基準と一般基準から判断され、本市農業委員会は2つの基準を踏まえ総合的に審査を実施している。地域の農業や土地利用計画に大きな影響を与える可能性があるため、慎重な判断が必要である。

【その他の質問事項】

◎赤土流出対策について

◎笠利地区の閉鎖保育所の活用について

◎笠利地区の消防団の車庫について

◎宇宿貝塚史跡公園修繕事業について

◎土盛海岸周辺環境整備について

◎あやまる岬改修工事について



▲ 国道58号喜瀬地区の現状（歩道未整備）

# 第2回定例会 常任委員会 審査概要

【文教厚生】 6月26日 左記の日程で議案について  
【産業建設】 6月27日 審査しました。  
【総務企画】 6月28日 委員会の審査について一部  
ご紹介します。

## 文教厚生委員会

令和6年度奄美市一般会計補正予算  
(第2号)

**問** 老人保護措置費(297万7千円増額)について

**答** 国通知に基づき養護老人ホーム勤務職員に月額1人当たり6千円程度の処遇改善加算、及び物価高騰による入居者の生活費1人当たり1日60円程度の引上げ分となっている。

**問** 宇宿貝塚史跡公園リニューアル整備事業について

**答** 内部リニューアルや照明設備等の改修を行う。そのうえで、体験型施設として、また周辺施設も含めた収益事業の在り方について、検討委員会を立ち上げ検討していきたい。

令和6年度奄美市一般会計補正予算  
(第3号)

**問** 各種予防接種業務委託について

**答** 5類移行後のコロナ予防接種費用が自己負担7千円のところを市が4千円助成して3千円とする。これにより接種率の向上、重症化予防を目的としている。

工事請負契約の締結(住用・笠利認定)とも園整備事業)について

**問** 契約金額が住用は笠利の半分以下だが、設計費は住用の方が高くなっている理由は

**答** 優先交渉権者決定にあたっては、プロポーザル方式による提案上限額の範囲内での評価概算での数字であり、実施設計が終わった段階で詳細な数字が出てくることになる。

## 産業建設委員会

名瀬中央青果市場株式会社の株式譲渡代  
金(52万1千円)について

【当局の説明】筆頭株主である奄美市がこの株式を購入し持ち株を増やすことで、経営改善に積極的に取り組んでいこうということでの予算計上である。今回新たに買い増すことで、持ち株比率は51.7%となる。

**問** 市が介入することにより、名瀬中央青果市場の運営がどう変わっていくのか、ビジョンはあるか

**答** まず売上高を上げることが最も大きな目標。世界自然遺産登録等の効果による観光客の増加、それに伴う飲食店等での消費拡大により、市場の取扱高も増えると想定されるので、観光客の増加を見込んだ取組が重要と考える。

マングロープパーク周辺道路の舗装工事  
(3654万6千円)について

【当局の説明】世界遺産センターからマングロープパーク本館、また、マングロープパーク第2駐車場から世界遺産センターへの通路、そしてグラウンドゴルフ場内の一部の舗装工事にかかる費用。

**問** グラウンドゴルフ場内の一部の舗装工事の詳細について

**答** グラウンドゴルフ場内の通路舗装。場内の通路は場所によって凹凸があり、利用者が転倒する危険性もあることから、園内通路の特に凹凸が多い箇所について、その凹凸をなくす整備を行うもの。

## 総務企画委員会

令和6年度奄美市一般会計補正予算  
(第2号)

**問** SDGs情報発信宣伝物作成業務の宇宿貝塚史跡公園の学習コンテンツについて

**答** 宇宿貝塚史跡公園を訪れた方が、施設内で学べるコンテンツを作成するもの。子どもから大人まで、観光客、インバウンドにも対応できるように、幅広い層をターゲットとした学習ツールとして、パネルまたは模型等の展示物を想定している。

**問** 物価高騰緊急対策事業定額減税調整交付金について

**答** 住民税のデータをもとに、令和6年度所得税額を推計し、令和6年度の個人住民所得額と合わせて、給付対象額を算出し、個人ごとの給付金対象者を抽出する。抽出された対象者の確認作業をし、8月の下旬までには対象者へお知らせする予定。申請をうけて、9月の中旬が開始時期の予定とのこと。

米軍機オスプレイの奄美群島上空での訓練飛行、禁止を求める陳情書

▼不採択とすべきもの

【委員からの主な意見】

○米軍に対しての意見書は難しいのではないかと。

○オスプレイの整備不良の機体が飛ぶことはまかりならない。

○未来永劫、飛ばないことを願うのか。○安全が確認されたら低空飛行はあるのか。

## 第2回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	令和5年度奄美市一般会計予算繰越明許費繰越計算書		
	令和5年度奄美市一般会計予算事故繰越し繰越計算書		
	令和5年度奄美市水道事業会計予算繰越計算書		
	令和5年度奄美市下水道事業会計予算繰越計算書		
	令和5年度奄美市債権管理条例第17条第1項に伴う債権放棄報告書		
	専決処分の報告について (専決第5号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
	専決処分の報告について (専決第6号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について)		
議案第41号	令和6年度奄美市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	全委員会
議案第42号	奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第43号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第44号	奄美市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第45号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第46号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第47号	令和6年度奄美市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第48号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	本会議
議案第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	本会議
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	本会議
発議第2号	国立療養所奄美和光園の医療・福祉の充実と、将来構想の確立を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第4号	肉用子牛価格の急落に関する意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請第1願号	国立療養所奄美和光園の医療・福祉の充実と、将来構想の確立に関する請願について	全国ハンセン病療養所入所者協議会 会長 屋 猛司 奄美和光園と共に歩む会 代表 福田 恵信 全医労奄美支部 支部長 福崎 昭徳	採択	文教厚生
陳第3情号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	黒木 健史	採択	文教厚生
陳第4情号	肉用子牛価格の急落に関する陳情	あまみ農業協同組合 代表理事組合長 窪田 博州 農民政治連盟あまみ総支部 奄美市部長 伊集院 巖	採択	産業建設
陳第5情号	奄美市の義務教育における学校給食費の無償化を求める陳情	奄美民主団体協議会 代表 荒田 まゆみ	採択	文教厚生
陳第6情号	地方財政の充実・強化に関する意見書の採択を求める陳情	関 誠之	採択	総務企画
陳第7情号	米軍機オスプレイの奄美群島上空での訓練飛行、禁止を求める陳情書	奄美の自然と平和を守る郡民会議 議長 富 さつき	不採択	総務企画

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																【○賛成数】	【●反対数】						
	朝木一仁	西忠男	帯屋誠二	瀧真一郎	正野卓矢	弓削洋平	幸多拓磨	大庭梨香	叶幸治	盛剛	前田要	泉義昭	永田清裕	崎田信正	奥輝人	多田義一			栄ヤス工	与勝広	奥晃郎	伊東隆吉	竹山耕平	川口幸義
陳情第7号 米軍機オスプレイの奄美群島上空での訓練飛行、禁止を求める陳情書	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	-	●	●	●	●	●	●	●	3	18

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）  
※奥輝人議員は議長職のため、表決権はありません。

会派結成と委員変更のお知らせ

令和6年3月26日付けで、新たな会派として「奄美笠誠会」が結成されました。

【奄美笠誠会】  
代表者：泉 義昭 議員  
幹事長：前田 要 議員

このことに伴い、議会運営委員会の委員が以下のとおり変更になりましたのでお知らせいたします。

【議会運営委員会】  
(辞任) 瀧 真一郎 委員  
(選任) 泉 義昭 委員 新

# 常任委員会所管事務調査報告

市議会には3つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に審議しています。

各委員会では全国の先進事例を参考にするため、1年に1回、現地を訪問し調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り許可しております。5、7月に調査を行いましたので報告いたします。

## 産業建設委員会

### ◎参加委員

弓削洋平 / 泉義昭 / 叶幸治 / 盛剛 / 永田清裕 / 多田義一 / 与勝広

### ◎調査日程

5/15 ~ 5/18

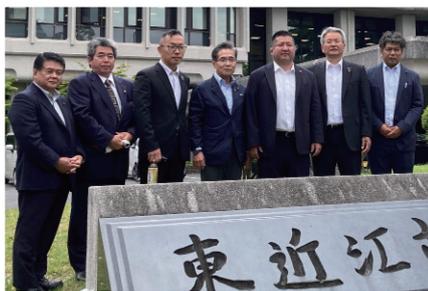
### ◎調査場所と調査事項

【東近江市役所（滋賀県東近江市）】

地域公共交通「ちょこっとバス・ちょこっとタクシー」について

【丹後織物工業組合（京都府京丹後市）】

丹後織物の担い手不足対策や技術伝承の取組について



## 文教厚生委員会

### ◎参加委員

竹山耕平 / 幸多拓磨 / 西忠男 / 大庭梨香 / 前田要 / 崎田信正 / 伊東隆吉

### ◎調査日程

5/21 ~ 5/24

### ◎調査場所と調査事項

【豊島区役所（東京都豊島区）】  
子どもの権利に関する条例について

【認定 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク(東京都豊島区)】  
豊島子ども WAKUWAKU ネットワークの取組について

【さいたま市桜環境センター（埼玉県さいたま市）】  
桜環境センターの概要、取組について



## 総務企画委員会

### ◎参加委員

栄ヤスエ / 川口幸義 / 朝木一仁 / 帯屋誠二 / 奥輝人 / 瀧真一郎 / 正野卓矢 / 奥晃郎

### ◎調査日程

7/16 ~ 7/19

### ◎調査場所と調査事項

【加古川市役所（兵庫県加古川市）】

書かないワンストップ窓口について

【豊岡市役所（兵庫県豊岡市）】  
ジェンダーギャップ解消の取組について



# 令和5年度 政務活動費報告

政務活動費は、調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派または議員個人に交付されるものです。

奄美市では年度初めに1年分を交付しており、会派または議員は、年度終わりに年間の収支報告書などを議長に提出しています。なお残預金は市へ返還されます。

令和5年度については、改選のため2回に分けて交付されました。

## ①令和5年4月～令和5年11月

議員1人当たり18万円（月額2万2,500円×8か月分）が交付されました。（和田議員は8月退職に伴い5か月分が交付されています。）

全体交付申請額335万円のうち215万円（64%）を、奄美市議会議員としての調査研究等のために活用しました。

（単位：円）

項目	〈支出額の用途〉							支出額の合計	政務活動費の支出額	市への返還金
	調査研究費	研修費	広報費	要請陳情活動費	資料作成費	資料購入費	事務所費			
幸多 拓磨			91,125			20,649		111,774	111,774	68,226
弓削 洋平			74,720		18,389	13,209		106,318	106,318	73,682
永田 清裕	57,900				49,710	7,440		115,050	115,050	64,950
和田 霜析					209,000			209,000	112,500	0
林山 克巳								0	0	180,000
正野 卓矢			93,760			1,100		94,860	94,860	85,140
橋口 耕太郎				96,690	32,560			129,250	129,250	50,750
栄 ヤス工				95,390	31,460	2,750		129,600	129,600	50,400
大迫 勝史				103,360	63,311			166,671	166,671	13,329
奥 晃郎			80,000		15,466			95,466	95,466	84,534
竹山 耕平	136,610			29,000		34,640		200,250	180,000	0
関 誠之	121,070	45,000	85,050					251,120	180,000	0
日本共産党						38,249	152,000	190,249	180,000	0
与 勝広	95,390				39,462			134,852	134,852	45,148
西 公郎								0	0	180,000
奥 輝人					7,356	7,700		15,056	15,056	164,944
伊東 隆吉	4,500				2,079	38,940		45,519	45,519	134,481
川口 幸義	82,080				46,165	49,300		177,545	177,545	2,455
多田 義一					192,000			192,000	180,000	0
総計	497,550	45,000	424,655	324,440	706,958	213,977	152,000	2,364,580	2,154,461	1,198,039
構成比	21.0%	1.9%	18.0%	13.7%	29.9%	9.0%	6.4%	100.0%		

## ②令和5年12月～令和6年3月

議員1人当たり9万円（月額2万2,500円×4か月分）が交付されました。  
 全体交付申請額198万円のうち136万円（69%）を、奄美市議会議員としての調査研究等のために活用しました。

（単位：円）

項目	〈支出額の用途〉						支出額の 合計	政務活動 費の 支出額	市への 返還金
	調査 研究費	研修費	広報費	資料 作成費	資料 購入費	事務所 費			
朝木 一仁			41,733	8,539			50,272	50,272	39,728
西 忠男		5,000	43,050	14,270	15,279		77,599	77,599	12,401
帯屋 誠二	51,715			41,415			93,130	90,000	0
瀧 真一郎				3,700			3,700	3,700	86,300
正野 卓矢			70,800		21,024		91,824	90,000	0
弓削 洋平			33,700	7,360	9,435		50,495	50,495	39,505
幸多 拓磨				3,325	12,994	64,000	80,319	80,319	9,681
大庭 梨香	55,910	5,000		32,061			92,971	90,000	0
叶 幸治	59,910			12,017			71,927	71,927	18,073
盛 剛							0	0	90,000
前田 要							0	0	90,000
泉 義昭	64,800			13,391			78,191	78,191	11,809
永田 清裕	51,715			25,150	3,720		80,585	80,585	9,415
日本共産党	5,000				21,446	76,000	102,446	90,000	0
奥 輝人					2,800		2,800	2,800	87,200
多田 義一							0	0	90,000
栄 ヤス工	56,920	15,000		2,194	5,500		79,614	79,614	10,386
与 勝広	56,920			22,532			79,452	79,452	10,548
奥 晃郎	51,915		40,000				91,915	90,000	0
伊東 隆吉	51,715			1,039	29,710		82,464	82,464	7,536
竹山 耕平	62,751				19,080		81,831	81,831	8,169
川口 幸義	52,315			3,965	39,988		96,268	90,000	0
総 計	621,586	25,000	229,283	190,958	180,976	140,000	1,387,803	1,359,249	620,751
構 成 比	44.8%	1.8%	16.5%	13.8%	13.0%	10.1%	100.0%		

- ・紙面の都合上、支出がなかった用途項目は省略しています。
- ・四捨五入の関係で、構成比等の合計が一致しない場合があります。
- ・収支報告書などの資料を閲覧することができます。資料の閲覧を希望される方は、議会事務局までお越しください。

## 議会の動き

### 【5月】

- 8日 議会運営委員会
- 14日 第1回臨時会、政策立案推進会議
- 15日 産業建設委員会所管事務調査  
(~18日)
- 19日 横浜DeNAベイスターズ奄美デー
- 21日 鹿児島県市議会議長会臨時総会  
文教厚生委員会所管事務調査  
(~24日)
- 22日 全国市議会議長会定期総会
- 26日 鹿児島県総合防災訓練
- 28日 広域事務組合臨時議会

### 【6月】

- 7日 政策立案推進会議
- 10日 議会運営委員会
- 18日 第2回定例会開会、全員協議会、  
議会運営委員会
- 19日 一般質問 (~21日)
- 25日 本会議、全員協議会、  
奄美市議会政策立案推進会議と観光  
事業者等との意見交換会、  
開発公社評議員会
- 26日 文教厚生委員会
- 27日 産業建設委員会
- 28日 総務企画委員会

### 【7月】

- 1日 芝山町と奄美市との空港で結ぶ友好  
都市協定締結式
- 5日 最終本会議、全員協議会、  
会派代表者会
- 10日 奄美市議会政策立案推進会議と観光  
事業者等との意見交換会
- 11日 全国ハンセン病療養所所在市町連絡  
協議会総会
- 16日 総務企画委員会所管事務調査  
(~19日)
- 25日 鹿児島県市議会議長会定期総会  
(~26日)
- 29日 奄美群島さとうきび価格対策協議会  
総会

## 市議会だより 編集委員会

【委員長】 奥晃郎  
【副委員長】 帯屋誠二  
【委員】 朝木一仁  
大庭梨香  
前田要  
崎田信正

## 第3回定例会の予定

### 令和6年9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	開会	一般質問				
8	9	10	11	12	13	14
	本会議	常任委員会				
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
		最終 本会議				
29	30					
	決算 委員会					

### 令和6年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		決算委員会				
6	7	8	9	10	11	12

## 「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。  
議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

### 「傍聴」

事前連絡は不要です。  
奄美市役所名瀬庁舎8階  
にお越しください。

### 「議会中継」

議会の様子を  
インターネットで  
生中継しています。

## 編集あとがき

梅雨が明け、今年の夏はコロナ禍からの回復を祝うように、各地で多くの「集い」が催されています。日が暮れだすと、八月踊り・舟こぎ・大島地区大会(郡体)にむけた練習風景が見られる時期になってきました。

とある日の敬老会に参加した折に、地域の子どもたちが集落の歴史や文化を調べ、発表する機会を目の当たりにしました。その場は笑顔で溢れ、感動している方々も見受けられました。同じ空間に、人々が「集い」、世代を超えて交流し、踊り、助け合っている姿はシマ独特の風情があります。

甚大な影響をもたらしたコロナ禍から学ぶとすれば、「一つ一つの当たり前がいかにも難しいことであつたか」気付かされたことではないでしょうか。

71年前の復帰運動からもみられるように、先人達も苦難や困難を乗り越えるため、一致団結して日本復帰を果たしました。

私たち奄美市議会においても、一人ひとりが情熱を燃やし、議場に集い、市民の皆様へ寄り添って、奄美市の発展のため尽力してまいります。

【朝木一仁】